



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 三櫻工業株式会社

コード番号 6584 URL <http://www.sanoh.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 篠原 利幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務管理部長 (氏名) 篠原 良幸

TEL 0280-33-1121

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,264	25.2	1,224	50.6	1,230	49.6	655	29.2
24年3月期第1四半期	17,786	△14.1	813	△62.5	822	△57.8	507	△54.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,009百万円 (1.7%) 24年3月期第1四半期 992百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	17.99	—
24年3月期第1四半期	13.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	72,415	36,861	48.7	968.58
24年3月期	70,171	36,197	49.4	952.46

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 35,253百万円 24年3月期 34,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.50	—	9.50	19.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.50	—	10.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,100	25.2	2,300	126.2	2,400	197.4	1,500	286.6	41.21
通期	90,700	19.2	6,300	83.3	6,000	99.1	3,700	256.8	101.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	37,112,000 株	24年3月期	37,112,000 株
25年3月期1Q	715,796 株	24年3月期	715,778 株
25年3月期1Q	36,396,208 株	24年3月期1Q	36,681,096 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、依然として厳しい状況にあるものの、東日本大震災の影響による停滞からのゆるやかな景気回復傾向にあります。海外では新興国を中心に景気の拡大傾向が続いているものの、米国や中国での景気減速や欧州での金融不安などにより、先行きへの不透明感が続いております。

自動車業界におきましては、円高の継続やガソリン価格の高止まりなど不安材料はあったものの、東日本大震災からの復興とエコカー減税による内需および新興国での市場の拡大により、生産・販売ともに前年同期を上回る状況となりました。

このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、顧客である自動車メーカーの生産回復が大きく影響し、前年同期と比べて生産が大幅に増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は222億64百万円（前年同期比25.2%増加）となりました。また、利益は、売上高が増加した効果により、経常利益は12億30百万円（前年同期比49.6%増加）、当期純利益は6億55百万円（前年同期比29.2%増加）と増益となりました。

製品別では、車輻配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレイジング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）、および車輻安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も、前年同期と比較して売上が増加いたしました。

所在地別セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

東日本大震災の影響による自動車減産からの回復により取引先自動車メーカー各社からの受注が増加いたしました結果、売上高は109億74百万円（前年同期比44.0%増加）、セグメント利益は10億52百万円（前年同期比721.9%増加）と増収増益となりました。

② 北米・中南米

米国自動車市は堅調に推移し、売上高は64億33百万円（前年同期比22.2%増加）となりましたが、セグメント利益は1億78百万円（前年同期比30.7%減少）となりました。

③ 中国

中国自動車市場は引き続き堅調に推移し、売上高は15億19百万円（前年同期比9.7%増加）となりました。新規製造拠点の立ち上がり費用を計上したこと等により、72百万円のセグメント損失となりました。

④ アジア

インドをはじめとする東南アジアにおける自動車市場は引き続き堅調に推移しましたが、タイ洪水被害や円高による為替等の影響を受け、売上高は23億72百万円（前年同期比11.8%減少）、セグメント利益は1億54百万円（前年同期比63.1%減少）となりました。

⑤ 欧州

取引先自動車メーカーからの受注が増加したことにより、売上高は9億66百万円（前年同期比16.9%増加）となりましたが、15百万円のセグメント損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は724億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億44百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の減少12億25百万円、売上債権の増加12億54百万円、たな卸資産の増加10億39百万円、有形固定資産の増加8億83百万円、繰延税金資産の増加4億46百万円等であります。

負債合計は355億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億80百万円増加しました。主な要因は仕入債務の増加3億19百万円、未払法人税等の減少12億32百万円、長期借入金の増加12億15百万円、賞与引当金の増加5億92百万円、繰延税金負債の増加1億16百万円等であります。

純資産は368億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億64百万円増加しました。主な要因は四半期純利益による増加6億55百万円、配当金支払による減少3億46百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億1百万円、為替換算調整勘定の増加6億40百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が12億30百万円、減価償却費が10億23百万円、売上債権の増加による資金減が10億8百万円、たな卸資産の増加による資金減が6億16百万円、法人税等の支払による資金減が12億82百万円あったことなどにより、7億54百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が12億22百万円あったことなどにより、11億62百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入の減少による支出2億15百万円、長期借入金の増加による収入10億79百万円、配当金の支払による減少3億46百万円などにより、5億円の収入となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比較して12億25百万円減少し、99億52百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、円高の継続やガソリン価格の高止まりなど不安材料はありますが、当第1四半期連結累計期間において概ね計画通り推移しているため、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,309	10,084
受取手形及び売掛金	13,105	14,359
商品及び製品	3,223	3,280
仕掛品	2,928	3,322
原材料及び貯蔵品	5,396	5,984
繰延税金資産	953	1,002
その他	1,079	1,609
流動資産合計	37,992	39,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,495	13,793
機械装置及び運搬具	41,206	42,159
工具、器具及び備品	7,043	7,152
土地	3,957	3,953
リース資産	233	235
建設仮勘定	1,423	2,206
減価償却累計額	△43,605	△44,847
減損損失累計額	△478	△491
有形固定資産合計	23,275	24,159
無形固定資産		
リース資産	115	103
その他	359	382
無形固定資産合計	474	485
投資その他の資産		
投資有価証券	5,187	4,569
繰延税金資産	2,646	3,043
その他	597	520
投資その他の資産合計	8,430	8,132
固定資産合計	32,179	32,776
資産合計	70,171	72,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,840	12,159
短期借入金	5,458	5,467
未払金	1,722	1,852
リース債務	87	85
未払法人税等	2,073	842
賞与引当金	800	1,392
製品保証引当金	169	174
その他	1,455	1,849
流動負債合計	23,605	23,819
固定負債		
長期借入金	1,971	3,186
リース債務	141	131
退職給付引当金	8,063	8,127
役員退職慰労引当金	195	174
繰延税金負債	—	116
固定負債合計	10,370	11,735
負債合計	33,974	35,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	30,745	31,054
自己株式	△476	△476
株主資本合計	36,747	37,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,673	1,272
繰延ヘッジ損益	△37	2
為替換算調整勘定	△3,717	△3,077
その他の包括利益累計額合計	△2,082	△1,804
少数株主持分	1,531	1,608
純資産合計	36,197	36,861
負債純資産合計	70,171	72,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	17,786	22,264
売上原価	15,218	18,647
売上総利益	2,568	3,617
販売費及び一般管理費	1,754	2,394
営業利益	813	1,224
営業外収益		
受取利息	18	5
受取配当金	27	29
為替差益	—	41
その他	46	20
営業外収益合計	91	94
営業外費用		
支払利息	52	68
為替差損	11	—
その他	19	20
営業外費用合計	82	88
経常利益	822	1,230
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	824	1,230
法人税、住民税及び事業税	407	728
法人税等調整額	△228	△173
法人税等合計	179	555
少数株主損益調整前四半期純利益	645	674
少数株主利益	138	19
四半期純利益	507	655

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	645	674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△401
繰延ヘッジ損益	17	39
為替換算調整勘定	345	697
その他の包括利益合計	347	335
四半期包括利益	992	1,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	829	933
少数株主に係る四半期包括利益	163	76

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	824	1,230
減価償却費	1,018	1,023
受取利息及び受取配当金	△45	△34
支払利息	52	68
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△162	△1,008
たな卸資産の増減額(△は増加)	△774	△616
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,166	△119
その他	317	703
小計	62	1,246
利息及び配当金の受取額	47	34
利息の支払額	△68	△92
法人税等の支払額	△748	△1,283
過年度法人税等の支払額	—	△659
営業活動によるキャッシュ・フロー	△708	△754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,125	△1,222
有形固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△70	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,196	△1,162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,615	861
短期借入金の返済による支出	△1,521	△1,077
長期借入れによる収入	—	1,233
長期借入金の返済による支出	△786	△154
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△348	△346
少数株主への配当金の支払額	—	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40	500
現金及び現金同等物に係る換算差額	87	191
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,857	△1,225
現金及び現金同等物の期首残高	11,939	11,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,082	9,952

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	7,622	5,264	826	1,385	2,689	17,786	—	17,786
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	2,986	27	—	130	—	3,143	△3,143	—
計	10,608	5,291	826	1,515	2,689	20,930	△3,143	17,786
セグメント利益	128	257	12	50	417	863	△50	813

(注) 1. セグメント利益の調整額には、たな卸資産等の調整額△55百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	10,974	6,433	966	1,519	2,372	22,264	—	22,264
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	4,029	28	—	222	23	4,302	△4,302	—
計	15,003	6,461	966	1,741	2,395	26,566	△4,302	22,264
セグメント利益 又は損失(△)	1,052	178	△15	△72	154	1,297	△74	1,224

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、たな卸資産等の調整額△74百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。